

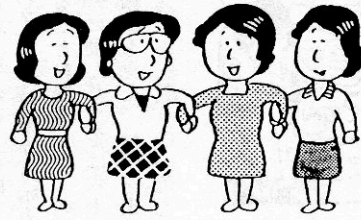
私の生涯学習

佐藤ヤス子

充実した人生、生き生きとした生活は、社会的に孤立している人間には味わえないような気がします。人生がむなしいと感じた時、何より大切なのは人々の中に入っていく勇氣でしょう。その氣持が自分の心に新鮮な意欲を生み出します。

専業主婦の私は、暇をつくっては、同じ趣味をもつ仲間との活動の場へ出向きます。その一つが、読書会(あひる会)です。はじめは、「子供たちのために本を読んでやろう」と同年代の母親が集まってはじめたサークルですが、今では、子供たちも成長して私たちの読書会になりました。みんなが同じ歴史小説を読み、あだこうだとデイスカッションし、恋愛小説を、フィクションを、ノンフィクションを読みふけり、話し合いの中で自分たちの生き方と重さねあわせてあすの生活の指針とすることもあります。月一回の例会を九人のメンバーが心待ちに集まって来ます。時には、本をそつちのけで、井戸端会議や人

生相談所に早変わり、昼食も忘れて話し込むこともあります。



昨年からは、朗読ボランティアにもとりくんでいます。これは毎月、メンバーのひとり「広報へき」をテーマにふき込み、目の不自由な人や、独り暮らしの老人などにこのテーマをとどけて聞いてもらおうのです。家庭のことだけを考えていた主婦が「社会のお役に立っているのだ。」そう信じて一年がたちました。一人だつたら体験できないことも仲間がいたからできたのです。

過去を、現代を、将来を語る仲間がいることの幸せを思いながら、五十代、六十代そして八十代までも、孤独にならず大勢の仲間と語り合えることが私の生涯学習のテーマとっています。

弘法大師霊場

「日置八十八ヶ所」のうち五十七ヶ所確認

江戸時代中期(文化・文政)、この地方にも「お大師信仰」が盛んでした。日置町にも多くの信者があり、その人々が施主となって日置八十八ヶ所が設けられお大師様がまつられました。

当時は、四季折々に霊場巡りをする白衣の信者の姿が眺められたことと思います。その後、信仰の衰えと共に、次第に住民からも忘れられてしまい、今では知る人も少なくなりました。

日置町教育委員会と同郷土史研究会では、この「日置八十八ヶ所」の確認に努力してきましたが、現在、五十七ヶ所しか確認されていません。残り三十一ヶ所を探索中ですがなかなか見つかりません。町民の皆さんでお心あたりがありましたら、改善センターまでご連絡下さいませようお願いします。



第四番 (小野地部落)

弘法大師霊場「日置八十八ヶ所」(現在確認されているのは五十七ヶ所です。)

部落	霊場番号
黄波戸口	三十四番、三十五番、三十六番
堀田	三十七番、三十八番、三十九番
亀山	二十八番、〇〇番、〇〇番
古市	八十四番、〇〇番、〇〇番
上城	〇〇番、〇〇番
大内山上	八番
大内山下	〇〇番、〇〇番、〇〇番
畑下	十八番
国広	十七番
真口	十六番、〇〇番
新市	十五番、二十一番、〇〇番
小野地	四番、六番、八十三番
狩宿	二十五番、七十五番、七十六番、七十七番、七十八番、七十九番
川原	五十四番、七十番、〇〇番
中村	四十四番、四十五番
東坂本	四十番、四十一番
西坂本	四十二番、四十三番
炭床	四十六番、四十七番、四十八番、四十九番、五十番、五十一番、五十三番
北山	〇〇番
長行	二十番、五十七番
井油谷町堀	六十八番、七十一番、〇〇番、〇〇番

※〇〇番は第何番かわからないものです。(番号は白石に書いてあるのですが、その白石がなくなっているのです)